

## 平成27年第1回 総合教育会議 会議録

1 日時 平成27年6月23日（火） 午後3時30分から午後4時10分まで

2 場所 碧南市役所4階 庁議室

3 出席者

(1) 碧南市長

(2) 教育委員会

委員 杉浦 敏機、委員 杉浦 健次、委員 加藤 讓、委員 高橋世利子、  
教育長 高松 透

(3) 事務局職員

総務部長 中山 修、教育部長 鈴木重幸、経営企画課長 岡崎康浩、経営企画課主  
幹 三島 翁、経営企画課政策推進係長 本多 真、経営企画課政策推進担当係長  
鈴木好美

4 傍聴者 2人

5 議題

(1) 総合教育会議の設置運営について

(2) 教育に関する大綱について

(3) 意見交換

市長あいさつ

(市長)

こんにちは。第1回の総合教育会議にお集まりいただきありがとうございます。また、日頃より碧南市の教育にご理解・ご支援いただき誠にありがとうございます。この総合教育会議というものは、新しい制度によるものでありまして、碧南市はいち早く新教育長を任命し、4月から新しい制度でスタートしているところでございます。今までも教育委員の皆様とはいろいろな場面でお話する機会がありまして、内容的にはさほど変わらないかもしれませんが、私が司会という形で会議に入るということが違っているわけでありまして、碧南市の教育をより良くするという部分については変わりませんので、ぜひ忌憚のないご意見をいただきながら、会議を進めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

議題（１）総合教育会議の設置運営について

経営企画課主幹が資料１に基づき説明した。

〈意見・質疑なし〉

（市長）

特にご意見もないようですので、原案とおりに進めさせていただきたいと思います。

議題（２）教育に関する大綱について

経営企画課主幹が資料２に基づき説明した。

〈意見・質疑〉

（教育長）

この方向でよいと思いますが、先ほどの定例教育委員会でも協議されました「いじめ防止基本方針」について、「（総合計画内 ２生きる力を育む義務教育の充実の）①教育内容や環境の充実」のところに、付け加えてもよいのではないかと思います。

（杉浦敏機委員）

総合教育会議設置規程第２条で（１）、（２）については総合計画で網羅されていると思いますが、（３）児童、生徒等の生命又は身体に現に被害が生じ、又はまさに被害が生ずるおそれがあると見込まれる場合等の緊急の場合に講ずべき措置 については総合計画に出てきませんので、１１月に（いじめ防止）基本方針が策定され、この総合教育会議でも報告されるということですので、そちらの内容を見て、取り入れたほうがよいと思います。

（市長）

今、ご意見をいただきましたことも含めまして、時代の変化の中で表現を変えたり、付け加えたりした方がよいものについてはそうして、大綱（案）を策定していくということで、ご異議ございませんか。

〈異議なし〉

（市長）

ご異議ございませんので、そのように進めさせていただきたいと思います。

### 議題（３）意見交換

（市長）

それでは（３）意見交換ということですが、先ほど申し上げましたとおり、この会議では扱う事項が３つほどありまして、そのあたりのことで何かご意見等あればお願いします。

（杉浦健次委員）

（教育委員会が）新制度になりましたが、碧南市は以前より予算要望会など、市長との対話の機会がよく設けられており、今までにおいてもよくコミュニケーションが取れていると私自身思っております。しかしながら、他の市町の教育委員の方々とお話をしていると、教育委員長ですら市長と一年間顔を合わせたことがない、話をしたことがない、といった地域もありまして、それゆえこのような制度ができたと言っても過言ではないと思っております。そういったことから始まったこの会議ですが、魂を入れていきたいと思っております。いずれ新制度に移行するのだから、最初から取入れていきたいと思いますというのが教育委員の一致した意見で、そういう意味ではよい滑り出しができたと思っております。一番大事なものは、総合計画にも「子どもは本市のかけがえのない財産」とありますように、どうやって子どもを育み活かしていくかということ、子どもたちをどうやって大人にしていくかということであり、そういった施策の手助けを私たちができればよいと思っております。いろんな施策が総合計画にもたくさん載っていますが、これを見直しながら、充実させていけば、文科省が考えていることが満足するようになると思います。広いことを言いますと、「安心・安全・教育・健康」この４つの柱をはずさなければ、碧南市の運営は間違いないと思います。

先ほど教育長がおっしゃったように、いじめ一つを取り上げても様々な捉え方がありまして、加害者だけを責めることもいけないし、被害者が危険を察して逃げることも人間の生き方の一つだと思っておりますので、そんなことも踏まえながら、職務を全うさせていただきたいと思っております。

（加藤讓委員）

碧南市は全国的にも環境面、財政面で恵まれており、住みやすい市です。一方、学校教

育も25年くらい前をピークに、教育の成果が表れたのか、子どもが環境の変化によって変わってきたのか、非常に落ち着きが出てきました。教育の成果という点から見ると、いち早く耐震化に取り組み、前に進んでいるのがハード面、その一方で、学校訪問などを通して、これが新しい問題だと思われたのが外国人教育ですね。今後、さらに外国人が増えてくるだろうと思われますので、大綱の中では、外国人の教育をどのようにするか、外国人も住みやすい市にどのようにするかということには触れていないので、これから5年先、10年先を考えて、そのあたりを含んでいった方がよいのかなと思いました。

(高橋世利子委員)

10月より教育委員として、毎回勉強させていただき、大変充実しています。子どもたちがとてもよい環境で育っていると感じているところです。生涯学習施設も大変整っていて、それを利用することで、一生目標を持って楽しく、病院に通う率が減るのではないかと、心の健康の面で大変よいのではないかと感じております。

それから、碧南らしい教育とはどういうものか、碧南らしいと言うにはどんなことをしていったらいいのか、そのあたりを考えております。

(市長)

ご意見ありがとうございます。非常に住みやすい、文化施設等も整っているという環境の中で、子どもも大人も育ちやすい環境になっておりますので、今後もみなさんのご意見を聞きながら充実させていきたいと思っております。碧南らしいとは、特徴があるということ、そういうことで考えられるのは、他市と比べいろいろな体験ができるということも碧南らしさの一つでしょうし、文化・スポーツ面で恵まれた環境にあるというもの碧南らしさだと思います。

(教育長)

先ほど加藤委員もおっしゃったように、碧南市は耐震性のない校舎をすべて建て替えていただいています。他の市ではなかなかないことであり、また、職員の配置もたくさんいただいています。私は、市長はよく考えて、いろいろな面でお金を使っていると思います。新しく教育委員会制度も変わりましたので、なるべく市長に情報提供をし、これまで以上に教育にお金を使っただくようお願い申し上げます。

(市長)

お金をどこに使うかがポイントだと思います。悪くなってから対策のために使うより、悪くなる前に使ったほうがよいと思います。

(杉浦敏機委員)

未然防止というお話ですが、学校でいじめがあると分かると、先生たちはすぐに対応してくれる。そういう意味では保護者は安心して子どもを任せられる。今、学校はいじめに対して真剣に取り組んでくれています。

(市長)

子どもたちの耐える力というのも身につけていかなければならないことありますが、対応の仕方をよく考えていかなければならないと思うところもありますね。

(杉浦健次委員)

学校訪問を通じて、先生の声が大きくなっていると感じました。リーダーシップという観点からみても、非常に落ち着いている、自信を持ってやっていただいていると感じました。市の運営も同じで、市長が方針を大きな声で言えば、市民は聞いてくれると思います。

(市長)

このような機会は大変よいですね。ざっくばらんに話す機会が増えると、よりいい方向に向かいますね。限られた財源で、費用対効果を考えながらやっていくのが当然ですので、そういうことを考えながらやっていきたいと思います。

以上をもちまして、第1回総合教育会議を終了します。ありがとうございました。